巻　頭　言

モバイルコンピューティングの展望と当社の取組

常務取締役
情報システム事業本部長
武藤達也

携帯電話・PHSなど移動体通信端末の飛躍的な需要拡大とノートパソコンの小型化・軽量化等を背景として，モバイルコンピューティングの環境が整いつつあります。従来は，スケジュールや住所録等の個人情報管理や，セールスマンによる特定用途向け業務端末などの利用形態が主でした。しかし，データ通信サービスなど移動体通信インフラの整備やインターネットの爆発的な普及に伴って，最近では，外出先や移動中に電子メールを利用したり，社内のデータベースにアクセスして最新の情報を瞬時に入手する等，業務での幅広い利用が注目を集めています。

当社は，ペン入力ベース携帯パソコンを企業の業務用途専用端末として事業を開始しました。1996年３月には，一般的な用途にも使用できる新たなモバイルコンピュータとして“AMITY SP”を製品化し，そのざん(斬)新なデザインとコンセプトが高い評価を得ました。その後も，キーボード入力ベースの“AMITY CN”を投入するなど，積極的な事業展開を推進しています。今回，この特集号でご紹介するように，当社の研究所及び技術センターの先端技術と当事業本部の実装技術を結集して，新しいコンセプトに基づく超薄型・超軽量モバイルコンピュータ“Pedion”を開発し，製品化しました。携帯性を重視し，Ａ４サイズのノートパソコンとして18mmという極限の薄さを追求したもので，ビジネス用のかばん(鞄)に入れても違和感なく，常に持ち運びできることがPedionの最大の特長です。この実現のため，液晶表示装置，キーボード，バッテリー，放熱構造等，パソコンの主要構成要素を自主開発した成果として誕生したものであり，必ずや皆様のご期待に沿えるものと確信しております。

モバイルコンピューティングは様々な可能性を秘め，今後普及していくことは確実と思われますが，克服すべき課題も多々あります。移動に伴う携帯性・省資源性・省電力性の問題のほかに，通信品質・速度・コスト等の無線にかかわる問題，オフィスの情報システム環境との連続性の問題，安全性・モラル・セキュリティ・プライバシー等の運用の問題を解決する必要があります。当社は，社内と社外をシームレスに接続するオフィス／モバイル連携ミドルウェアや，最先端の暗号技術を適用したモバイルセキュリティシステム等の開発と製品化を行っています。これらを通じて上記の課題に取り組み，真に利便性の高いモバイルコンピューティング環境の実現を目指しています。

従来のアプリケーションをモバイルコンピューティングで実現しようとすると，情報機器の携帯や無線通信はハンディキャップとなります。しかし，その一方で，モバイルの特性を生かした新しいアプリケーションの可能性もあります。プッシュ型サービスにより，街中でイベントや商品などの情報を提供できるなど，モバイルコンピューティングならではの利用形態がいろいろと考えられます。また，パーソナル化の進展とともに，家庭生活・社会生活をサポートするアプリケーションも今後急速に発展することが期待されます。

モバイルコンピューティングには幅広いベンダーが関係していますが，情報機器メーカー，通信キャリア，ソフトウェア会社が協力して，課題の解決や新しいアプリケーションの開発に当たる必要があり，当社もその一翼を担って，モバイルコンピューティングの推進と普及に向けて努力していく所存です。